

【昔の道具パネル】

- ・小学3・4年生の「昔の道具とくらし」学習向け
- ・専用ケースに入れて貸し出し
- ・貸出キット（小）に同梱することも可能
- ・送料は片道 1,600~3,000 円程度（実費負担）※金額は地域により異なります

1. パネルの内容

① 「昔の道具のうつりかわり」パネル A 2 サイズ× 2 枚

※ 2 枚を合わせて一つの表となります。



② 道具の解説パネル A 2 サイズ× 4 枚

- 「せんとく」 1 枚
- 「食事」 2 枚
- 「情報を伝えるもの」 1 枚



③ 道具クイズカード A 5 サイズ× 1 1 枚

上記①②で紹介されている道具についての短い文章を読んで、何の道具かを考えるクイズカード

ドです。（裏面に答えがあります。）

布を張りつけるときは、ゆがまないように、布の目をそろえながら、板のはしと布のはしが平行になるように張るのよ。



（「ポプラディア情報誌のくらし、ポプラ社」）

一枚の板の表と裏を両方使って、日なたに置くとすぐに乾きました。そして、乾いたら下から持ち上げてブーツとはがします。この作業も子どもがよく手伝ったものでした。



（「新しい出発 昭和の暮らしと今 エスシーシー」）

●●●はね、長い間使っていると「たが」がずれる。すると、水がもれちゃって使い物にならなくなるだろ。●●●が使えなくなると、●●●を買った「おけ屋さん」に持って行って、直してもらうの。直すのも商売なんだよ。



●●●は、ロゴが入ります。
（くらべてみよう！昭和のくらし生活 学習研究社）

④ グラフィックパネル A2×23枚

解説テーマ

家族の別れ、昭和10年頃の家庭、統制下の暮らし、戦中の学童・生徒、銃後の備えと空襲、昭和20年8月15日、廃墟からの出発、遺された家族、子どもたちの戦後、復興に向けてなど

図解・写真など

兵員数の推移、学徒勤労働員数の推移、空襲被害地図など

※ 貸出キット（小）のグラフィックパネルと同じ内容のものです。